

2006 年度

科目名 朝鮮語Ⅰ（コミュニケーション）	対象学科・学年 文学部教福1回生 教育教福1回生	担当者 権 智重
授業テーマ 異文化理解とコミュニケーション		
授業の概要と目標 日本から一番近い国、韓国（朝鮮）の言葉は、文法的に日本語と非常に多くの類似性をもっている、親しみ易く覚え易い言葉といえます。また、両国は古代から文物の交流を盛んに行っていた友好国でもあります。最近日本との交流がもっとも活発な隣国、韓国の言葉を学ぶと共に、映画や歌など視聴覚資料を通して、韓国の文化に触れます。		
評価方法 出席率とテストによって評価します。また、授業中に行う 会話練習の成果も考慮します。		
テキスト 『コミュニケーション韓国語』	著者 長谷川由紀子	出版社 白帝社
参考書 『コミュニケーション韓国語 読んで書こう1』	著者 長谷川由紀子	出版社 白帝社
授業スケジュール・内容 1 韓国語の文字とその歴史 2 — 6 韓国語の子音・母音／簡単な挨拶言葉 7 — 9 子音と母音の組み合わせ：単語を読み書き 10 — 11 パッチム 12 — 13 初対面の挨拶と自己紹介 14 ロールプレイ 15 韓国の映画鑑賞 16 — 17 前期の復習 18 — 19 「～は～です」の表現 20 — 21 指示・所有表現 22 — 23 否定文と漢数詞 24 韓国の礼儀作法（茶道） 25 ロールプレイ 26 固有数詞 27 買い物会話 28 ロールプレイ 29 韓国の映画鑑賞 30 まとめ		